

## 病院事業において想定される課題

官民を問わず、病院経営をめぐる環境は厳しさを増し、少子高齢化の進行などにより、地域の医療需要が大きく変化している中で、持続可能な経営を確保し、今後とも、地域で求められる医療体制をしっかりと確保していかなければならない。

- 1 経営改革に向けた取組の充実・強化
  - ・「新公立病院改革ガイドライン」で求められる、一層の経営改革の推進
  - ・地方交付税の算定基礎見直しによる財政支援措置の変更
- 2 今後ますます困難な状況が予想される医療従事者確保策の強化
  - ・医師・看護師等の地域偏在
  - ・他地域公立病院との給与・手当格差
  - ・看護師・薬剤師の民間需要動向と官民格差
- 3 病院経営をめぐる環境を踏まえた収益確保策の充実
  - ・人口減少・高齢化の進行と医療需要の変化
  - ・在宅重視に転換を図る診療報酬制度への対応
  - ・へき地医療や精神医療等、不採算医療を担う公立病院としての役割



上記の課題を解決し、着実に経営改革を進めていくためには、経営の自由度を高める必要がある。

### ○名寄市立総合病院

【経営形態】 地方公営企業法一部適用

【課題】 一部適用であるが、職員採用、職員手当の増設等の面で、歴代市長のご理解もあり、比較的全部適用に近い経営形態となっている。しかし、今改革ガイドラインで求められている、より一層の経営改革、他市町村の医療体制の変化等、当院をとりまく状況、診療報酬改定等に迅速、柔軟に対応する体制が不十分。

着実に経営改革を進めていくためには、経営の自由度を高め、柔軟に対応できる体制作りが必要と考えられる。

### ○名寄東病院

【経営形態】 指定管理者制度

【課題】 平成 15 年度より上川北部医師会に委託しており、地域の慢性期医療を担う病院として運営している。医師確保、施設の老朽化等の問題はあるが、黒字経営を続けている。なお、平成 26 年 4 月 1 日から平成 36 年 3 月 31 日まで、引き続き業務委託を行うこととした協定を上川北部医師会と締結しており、今後も引き続き、慢性期医療を担う病院としての体制維持が必要と考えられる。